

会議録

会議の名称	第6回 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会
開催日時	令和5年8月22日（火曜日）午後2時から4時まで
開催場所	インゲビル3階会議室
出席者	委員：清水晋会長 保谷隆司副会長 飯島享委員 桐木美里委員 指田泰弘委員 松川紀代美委員 事務局：高橋泰彦生活文化スポーツ部長 後藤幸男産業振興課長 菅野浩一郎産業振興課商工係長 遠藤集徳産業振興課主任 コンサルタント：梵まちづくり研究所 黒丸結奈 森唯香
議題	① 将来像の検討について ② 計画の骨子案の検討について
会議資料の名称	次第 第5回西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会 会議録（案） 資料1 将来像 検討案 資料2 西東京市第2次産業振興マスタープラン 骨子案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○会長： 定足数に達しているため、第6回西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会を開会する。</p> <p>2 第5回会議録（案）の承認 《第5回会議録（案）を承認》</p> <p>3 議題</p> <p>① <u>将来像の検討について</u></p> <p>○事務局： 《資料1に沿って説明》</p> <p>○会長： ただ今の説明内容について委員の意見や質問を求める。</p> <p>○事務局： 本日欠席の委員から、事前に将来像についての意見を伺っているので、紹介する。 案①は何を伝えたいかが具体的で一番わかりやすい。「つなぎ」という言葉は連携を表しており、「元気を生み出す」は総合計画の産業分野の施策で使用されている「活力」とリンクする。 案②は全てひらがなで、入ってこない印象があるが、文字の色を変えるなどの工夫をすればわかりやすくなると感じた。ひらがなは読みづらいが、あたたかみがある。 案③は、一番キャッチーだが、チャレンジしたい人以外には伝わりづらいのではないか。「ともに進みつづける」というフレーズからは、つながりをイメージしやすい。</p>	

○委員：

案①は「ザ・行政」という感じで、理解しやすい。4つの分野にもつながり、わかりやすいと感じた。

案②は4つの分野にもリンクしており、計画の全体像を捉えるには一番良いと感じた。

案③はキャッチーでわかりやすいが、新しいことにチャレンジしたい人が西東京市にどのくらいいるのか、と思った。創業支援に注力しすぎている印象があり、4つの分野との関連性を付けづらいため、3つの案の中で順位を決めるとすると一番下になる。

○委員

案①はわかりやすく、総合計画との関連性も感じられる。

前は案②の方向に集約していた。計画全体との馴染みも良い。

案③はキャッチーではあるが、計画全体で見ると欠けている視点もある。

順位を付けると、案②が一番で案①が二番だと考える。

○委員

案①はストレートかつ具体的で良いと感じた。

案②はひらがなが羅列されていて読みづらいと感じたが、他の委員の意見にあったように色を変えるなどの工夫をすれば、良くなるのではないかと思った。捨てがたいワードが使われており、前回のグループワークで「ここで」が付いたことで良くなったとも思うので、言葉は残したい。

案③は、創業したい人に対して西東京市でいろいろなサポートを受けてチャレンジできることをアピールできる。創業を考えている人にとっては市の施策を活用して創業できることが伝わるので、力強い印象を受ける。

全体的に考えると、案②が良いと感じた。

○委員：

案①が一番良いと感じた。骨子案の中に入れるにはこれが一番しっくりくる。産業振興は市民も取り組むべきことであり、みんなでやっていくというメッセージが伝わる。

案②は、ひらがなばかりであることが引がかかるのかもしれないと感じた。

案③は創業に偏りすぎており、主張が強すぎてしっくりこない人もいるかもしれない。

○委員：

案②が良いと思った。引っ越しなどで新しく西東京市に来た人も、「うまれる、そだつ、つながる」のどの段階からでも参加できて馴染めるとしてもらえる。他の2案は、ずっと西東京市に住んでいる人向けに感じられる。

案③は自己主張が強く、自分をアピールすることを好む人向けであると感じた。

案①の雰囲気も良いため、案①か案②が良いと考える。

○会長：

委員の意見をまとめると、案②は4つの分野等とのつながりも感じられて良いが、ひらがなについては表現の工夫が求められる。案①は前向きでわかりやすく、読んでしっくりくる。案③は主張が強い。これらを踏まえ、案①と案②の2つの中から事務局で調整してはどうか。

○事務局：

判断が難しいため、それぞれの案の改善策やメッセージ性などについて、再度意見や感想を伺いたい。

○会長

ただ今の補足内容について、委員の意見や感想等を求める。

○委員：

案②はひらがなが多く読みづらいため、「うまれる」や「そだつ」を漢字にしても良いのではないかと。前回のグループワークでも、総合計画の基本理念はひらがなばかりで読みづらいという話が出たと記憶している。

○委員：

今の案はひらがなで表記することで複数の意味を持たせられている。

○委員：

ひらがなのままにするなら、何か工夫をする必要がある。

○事務局：

文字の色やフォントを変えるなどの見せ方の工夫は、事務局からいろいろと提案できる。案①と案②の意味合いという観点から、どちらが産業振興の将来像として良いかという意見をいただきたい。

○委員：

「つなぐ」という言葉は総合計画のキーワードにもなっており、人をつなぐという意味と、次世代につなぐという意味が込められている。案①には、将来・次世代につなぐという視点がなく、案②とは異なり「つなぐ」の使い方が限定的になっている。

○委員：

事業所には、創業・成長・再生・事業承継というサイクルのモデルがあるため、「うまれる、そだつ、つながる」という考え方が馴染みやすい。また、創業支援に関する西東京市の取組みは他自治体と比べて進んでいるため、その次の段階として産業を市内で育てて次世代につなぐための後押しができるのは案②であると感じる。

○委員：

将来像は市民へのメッセージであると考え、案②では伝わりづらいつ感じる。案①は、日常の買物などの少しのことでも産業振興につながるのであれば自分にもできると思えるため、自分事として捉えやすい。

一方で、案①は新しく来た人にとって入りづらく感じることもわかる。また、案②からは誰でも参加できるというイメージが伝わる。

○委員：

農業や商売においては、人との横のつながりだけではなく、時間についての縦のつながりも必要である。農業の外部参入が可能になり、産業振興の有効な手段として活用できるようになった。商売においても第三者に継承できるようになってきている。こうした時間的な縦のつながりを表現できるのは案②である。

○事務局：

今後作成する素案には、将来像を入れ込みたい。事務局から提案する案①と案②の修正案について、次回委員会前にお示しできるかと思う。

② 計画の骨子案の検討について

○事務局：

《資料2の第1章に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について委員の意見や質問を求める。

○委員：

課題の中に農業についての課題が含まれていないため、農業分野の課題を1つ立ててはどうか。また、第1章全体は読みやすいが、資料編に移した内容まで敢えて見る必要がなくなっているように感じる。

○事務局：

「西東京市とは」のような内容は、読み手にとっては第1章に必要か。

○委員：

初めて見る人には、市の特徴の説明があった方が良い。

○委員：

第1章で人口等の課題に触れていれば、資料編のデータ等も見るのではないか。今の内容だと、資料編を見ずにさらっと読めてしまう。計画としては読みやすいが、まちの課題の中に具体的な数値等を入れ、資料編の該当ページを記載すると良いのではないか。

○事務局：

後期計画の検証は第1章に概要を載せてデータは資料編に移しているが、市の概況などの資料編に載せる予定のものも同様に第1章で簡単に紹介する形はどうか。

○委員：

第1章に簡単な内容が載っていれば後ろの資料編も読むのではないか。

3ページの「これまでの取組みの振り返り」で述べられている4分野11施策の内容について説明があると良い。

○事務局：

一覧表のような形で掲載する。

○委員：

課題について、「西東京市の課題」と「社会的な課題」を分けて示す方が読みやすい。

○事務局：

5 ページが西東京市の課題、6 ページが社会全体の課題であるため、分けて示す必要があると感じた。

○会長：

市の概況は全て資料編に載るイメージか。

○事務局：

その予定である。現在は資料編に現行計画の内容を仮に入れている。

○事務局：

《資料2の第2章に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について委員の意見や質問を求める。

○委員：

10ページの図が、前回よりもわかりやすくなっている。分野ごとの目指す姿も、良くまとめられている。商店街がどんどん減っていく中、にぎわいを生み、活性化させていくことが大事であると感じた。

○委員：

11ページの表中の「西東京市への愛着や誇りが育つ」という一文が引っかかる。その他の「市内で働く選択肢が増える」などは嬉しいと感じるが、愛着や誇りが持てるかどうかはその人の気持ち次第であると感じる。

○事務局：

表現を変えて、例えば「西東京市のことがもっと好きになる」などといった書き方ならどうか。

○委員：

そのような表現だと、嬉しいと感じられると思う。

○事務局：

文章の表現や視点について検討する。

○委員：

愛着や誇りについて、みんなでまちをにぎやかにする、という視点はどうか。また、分野ごとの目指す姿にも愛着や誇りといった文言が入っているが、市民は本当にそれらを求めているのか。まちがにぎわうことで市民が喜ぶ、という流れにしてはどうか。

○委員：

まちが盛り上がると自分も嬉しく思える。

○事務局：

分野ごとの目指す姿の説明文の視点を変えるなどして、もっと親しみやすい書き方に

修正する。

○委員：

「活気」という言葉を入れてはどうか。活気あふれるまちになることで、結果的に人々がまちに愛着を持ち、長く住みたいと思うようになる。

○会長：

10ページの図には、11ページの表の内容の抜粋や矢印の説明などを足すのか。

○事務局：

10ページ・11ページはセットとして考えていたが、10ページの図のみでもわかりやすいように、凡例を足すなど見せ方を工夫する。

○事務局：

《資料2の第3章に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について委員の意見や質問を求める。

○事務局：

本日欠席の委員から、第3章全体を通して文字の大きさなどの見せ方を工夫してはどうかという意見をいただいている。

○委員：

12ページの体系図の文字が細かく読みづらいが、今後読みやすいものに差し替えるのか。

○事務局：

現在の体系図は仮のものであり、今後読みやすさを考慮したものを改めて作成する。体系図に取組み内容まで載せているため、ボリュームが増えている。2ページでの記載を検討している。

○委員

「しごと」の分野は、西東京市は事業をしやすいまちであり、様々なサポートを受けられる、ということがしっかり人々に伝わる内容になっている。

○会長

写真等は現行計画と同じくらいの量を載せるのか。

○事務局：

その予定である。また、商店街の位置を示したマップなども作成して載せる予定である。

○委員：

総合計画の「まちの魅力の創造」の分野は産業振興課が担うのか。市民はシティプロモーション等について、地域で連携していくイメージを持っているが、この産業振興マ

スタープランにはどこまで書けるのか。

○事務局：

総合計画の基本施策14に関しては、関係がないわけではないが、産業振興課の事業は今のところぶら下がっていない。

産業振興マスタープランにも観光まちづくりは位置付けられているが、他の部署の事業でもカバーできる分野である。

農業分野の取組み内容等については、次回委員会までの間に一度委員に共有して意見をいただきたいと思っており、その際に第3章の中身等についても気になる点等があれば伺いたい。

○委員：

スーパーやコンビニ等の企業との関係について書かれていないが、この計画ではあくまで個人や小規模な事業者向けの取組みのみなのか。例えば商品パッケージのプラスチック削減などは企業よりも個人商店の方が取り組みやすいと思うが、そうした環境への配慮についても記載してはどうか。

○事務局：

市の施策として中小企業向けの支援がメインとなっているが、内容等について今後調整する。環境に関する視点は新しいと感じたため、検討する。

○委員：

環境に対する意識が希薄な事業者もいる。以前、野菜の袋を閉じるビニールテープの代わりに、取りやすい紙テープを使用することを農協で勧めたが、普及しなかった。包装等に使用するプラスチック製品が多すぎるため、個人商店も環境への意識を持って変えていくべきである。

○事務局：

市としてもプラスチック削減に取り組んでいるため、市の環境系の計画に記載されている内容を確認する。

○委員：

SDGs等、世の中も環境を意識する方向に向かっている。

○事務局：

《資料2の資料編に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について委員の意見や質問を求める。

○委員：

農業体験農園の意味合いが変化してきているため、特別扱いをして取組み内容とする必要があるのか、今後は考えるべきである。

○事務局：

計画本編での書き方を検討する。

後期計画の検証の図も文字が小さく読みづらいため、見やすくなるよう工夫する。

○会長：

現行計画のように、最初に検証内容等についての説明文を加えてはどうか。

○事務局：

素案作成の際には、説明を追記してわかりやすくなるように修正する。

現在資料編は作成中であるため、中身の多くは仮に入れたものとなっている。資料編についても、後日改めて修正案を確認していただく予定である。

○会長：

その他に、骨子案全体について再度委員の意見等を求める。

○委員：

農地の貸借に関する項目を「新規参入及び貸借による農業の活性化」として3つ目の施策として加えてほしい。農地は多面的な機能を持ち、農業以外にも産業振興や緑化等に関わる。

○事務局：

現在策定を進めている農業振興計画の検討状況を確認する。

4 その他

○事務局：

《次回委員会は10月下旬を予定》